

受精卵移植における受胎率向上試験

1 現状と課題

牛受精卵移植頭数は年々増加傾向にあるが、その受胎率は新鮮卵で約50%、凍結卵で約45%と低い水準で停滞しており、その向上が課題となっている。

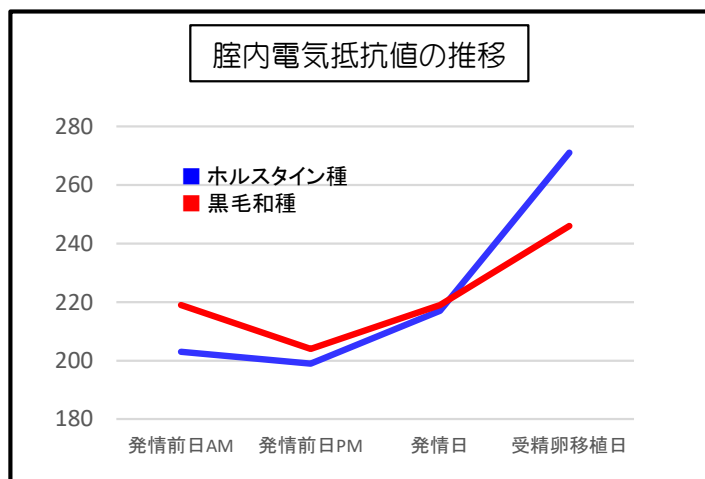
本研究では、受精卵を移植する牛(受卵牛)において、受胎または不受胎に関わる要因を様々な角度から調査して「見える化」し、現場で活用できる簡易的な受卵牛選定手法を確立する。

2 試験内容

- ① 受卵牛となるホルスタイン種および黒毛和種の発情前日、発情日、受精卵移植日の子宮環境および血液性状を調査
- ② 子宮頸管粘液pHや腔内電気抵抗値(VER)と合わせて受胎牛と不受胎牛の比較を行い、受胎に影響する要因を検証



3 期待される効果等



- ① 簡易的受卵牛選定手法を確立することで受胎率の向上が見込まれる
- ② 生産性向上による農家経営の安定化が図られる